

文字摺通信

第 68 号

2024年 7月15日

発行:文字摺歴史文化社

昭和30年代・40年代までは

「基本的生活は江戸時代」

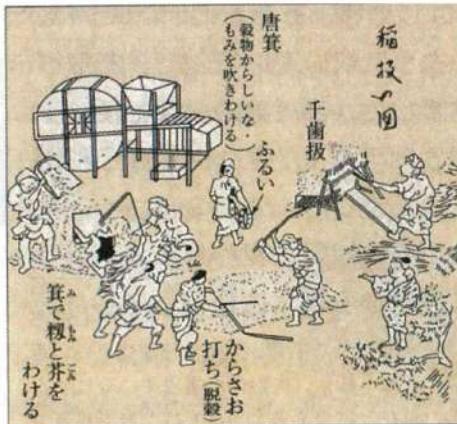
とあちこちで言っているわけ

学習センターなどで歴史の話をする時、私はよく、「私たちが生きて来た昭和30年代、40年代の記憶を記録に留めておきましょう」と言います。そして続けて「あの頃の生活は今と根本的なところで違っていました。基本的な生活は江戸時代と変わらないのです。」と言います。うなづく方はわずかで、多くの方は「ナゼ?」「エッ?!」と怪訝な顔をします。

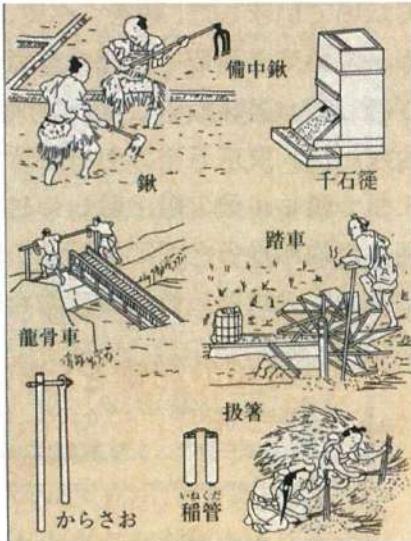
右上の図は、高校の教科書『詳説 日本史B』(山川出版社 平成30年、文科省検定済) 江戸時代の「農業生産の進展」の項に掲載されている図です。左下の注釈に「農作業と農具 備中鋤は田の荒おこし用、千石籠は穀粒の選別具。揚水機は中国伝来の龍骨車から小型の踏車に、また脱穀は扱箸から千歯板にかわった。左上の図は『老農夜話』などに描かれた脱穀・調整の様子。」との説明があります。昭和30年代の田んぼには、動力機はついていましたが、唐箕が使われていました。ダッ、ダッ、ダッと不器用な音を立てて唐箕が廻っていました。耕耘機はありましたが、備中鋤は欠かせない農具でした。田植も稻刈りも基本的に人力でした。

ヰセキの田植え機「サナエ」の誕生は昭和46年です。「三ちゃん農業」が流行語になったのは昭和38年でした。じいちゃん・ばあちゃん・かあちゃんの3ちゃんが農業の担い手にならざるを得ない状況で、とうちゃんは休日大急ぎで田植・稻刈りをする。そのためにヰセキ田植え機「さなえ」は大活躍をしました。桜田淳子のコマーシャル「やっぱり、さなえだべさ」を覚えているのは、その名前のせいかな?

この頃稻刈り機（まだバインダーでした）も発売



農作業と農具 備中鋤は田の荒おこし用、千石籠は穀粒の選別具。揚水機は中国伝来の龍骨車から小型の踏車に、また脱穀は扱箸から千歯板にかわった。左上の図は『老農夜話』などに描かれた脱穀・調整の様子。



【ヰセキ田植え機「sanae」】

吾が半生を振り返って(何でもベスト10)その3“女性歌手”

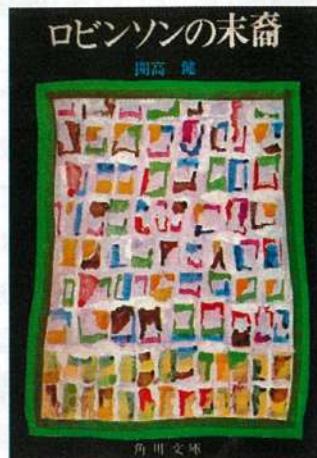
今回の私のベスト10は歌謡曲を唄う女性歌手と彼女の代表曲というか私のお気に入りの曲。昭和の歴史は歌謡曲の歴史です。昭和4年の「東京行進曲」(歌:佐藤千夜子)から始まって、昭和の終わりと共に、その役割を終えました。歌謡曲は、演歌・青春歌謡・リズム歌謡・浪曲・民謡・ロックやジャズまで何でもありの幅広いジャンルでした。「枯葉」は越路吹雪が歌えばシャンソンですが、都はるみが歌ったら演歌歌謡になります。非常に許容幅のある、“昭和”文化、そのものだと思います。今回はスペースの関係で曲ごとのコメントはなしですが、この10曲、私にとって、曲ごとにその時代・時期のいろいろな思いが詰まっている曲です。

歌謡曲(女性歌手)		
	曲名	歌手
1	喝采	ちあきなおみ
2	りんご追分	美空ひばり
3	舟歌	八代亜紀
4	五番街のマリーへ	高橋真梨子
5	コーヒールンバ	西田佐知子
6	イミテーションゴールド	山口百恵
7	涙の連絡船	都はるみ
8	圭子の夢は夜聞く	藤圭子
9	ファイト	中島みゆき
10	DESIRE-情熱	中森明菜

編集後記兼近況報告兼私憤公憤※

☆大学最終学年、福島中央テレビを受験。二次面接で「好きな作家は?」の間に「開高健です」と即答したら、「君は偏っている!」と決めつけられ、ついつい激して口論に、結果は勿論不採用でした。開講健は『青い月曜日』や『日本三文オペラ』が好きですが、授業などでよく話をしたのは『ロビンソンの末裔』。久しぶりに書棚から角川文庫版を取り出してみたら、中表紙裏に右下のスタンプが。大学2年の時友だちと北海道一周14泊15日の旅をしました。周遊券片手に、シラーフを持参し、大学寮や駅待合室、ユースホステルなどに泊まりながらの貧乏旅行でしたが、この本を持参していたのです。この文庫本の最後のページに「47.8.13」とありますから、このスタンプを押した美幌駅あたりで読了だったのと思われます。授業でよく引用したのは、次の箇所です。「やったってやらなくたって、結果のちがいは五十歩百歩かも知れない。けれどやらない前の五十歩百歩と、やったあの五十歩百歩はどこかちがうところがあるにちがいないのです。五十歩と百歩とはハッキリちがうということが、なにがしわかつてくるにちがいないのだ。そこを一番、やってみる必要があるのじゃないか・・・」卒業生に頼まれて色紙に書くとき、よく「やる前の五十歩とやった後の百歩は確実に違う」と書きました。ここの文章からの引用です。

私の座右の銘の一つは「迷ったらやる!」です。



『～ふくしまの歴史と文化財～文字摺通信』第68号 令和6年7月15日(月)発行

発行: 文字摺歴史文化社 代表: 守谷 早苗

